

地域振興推進費事業計画・自己評価書 (実績)

令和8年4月30日

提出区分	実績	整理番号	9	課題区分	C
横断的な課題	収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
地域重点政策	北信州の自然を活かした、収益性の高い農業・国際競争力の高い観光業の振興				
実施機関	北信地域振興局		担当課	所属	商工観光課
事業名	広域サイクリング推進事業			電話	8-247-252
				E-mail	hokuchi-shokan@pref.nagano.lg.jp
事業の概要	目的 (目指す姿)	信越自然郷を中心とした近隣エリアとサイクリングによる広域観光の推進に取り組むことで、グリーンシーズンの観光誘客を図る。			
	現状と課題	<p>【現状】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>信越自然郷は県内におけるサイクルツーリズムの先進地域として認知。</li> <li>サイクルトレイン導入路線が近隣地域を含め年々拡張しており、サイクリングライト層でも広範囲での移動が可能になった。また、近年増加している外国人観光客は長距離サイクリングを好む傾向があり、広域での一体的な取組は魅力的な観光地域づくりのためにも有用。</li> <li>長野・北信サイクルツーリズム推進会議では、他の地域との交流や、共通課題解決に向けたディスカッションが参加者に好評。</li> <li>西日本最大のスポーツ自転車フェスである「サイクルモードライド大阪」に3年連続で管内市町村と連携し出展、管内の魅力発信した。長野県及び新潟県の地域振興局が一体的にPRし、588名がブース来訪(R6)。当地域の認知度向上に一定の成果があった。</li> </ul> <p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>管内では各市町村・団体が取組を推進しているが、地域全体で自転車をどう観光に活かすかが共通の課題となっているため、引き続き広域での推進会議を開催し、事業者や地域住民の巻き込み方法も含めて議論を深めながら広域的な取組を強化することが必要。</li> <li>冬季に比べてグリーンシーズンの観光客数は依然少なく、通年型観光推進のためには、アクセスが良い首都圏での情報発信を積極的に行い、更なる誘客促進を図る必要がある。</li> </ul>			
内容 (変更後の内容)	内容	<p>近隣エリアとサイクリングによる広域観光の推進に取り組むことでグリーンシーズンの観光誘客を図る。</p> <p>①CYCLE MODE TOKYO2025、CYCLE MODE RIDE OSAKA2025出展</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>CYCLE MODE TOKYO2025 日時：令和7年4月19日(土)、20日(日) 場所：東京ビッグサイト(東京都江東区有明) 参集者：一般サイクリスト、自転車関連事業者 内容：信越自然郷と共同出展。隣接出展する新潟県と連携し広域での魅力発信を実施。 ※なお、R8も同行事に展覧予定であり、出展料が前払いであるためR7予算で支出する。</li> <li>CYCLE MODE RIDE OOSAKA2025 日時：令和8年3月7日(土)、8日(日) 場所：万博記念公園(大阪府吹田市千里万博公園) 参集者：一般サイクリスト、自転車関連事業者 内容：信越自然郷と共同出展。ブース出展料は信越自然郷が支出。</li> </ul> <p>②サイクルツーリズム推進に係る課題解決モデル事業</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時：令和7年12月～令和8年2月 場所：飯山市 講師：小口良平氏 参集者：飯山市、信州いいやま観光局、飯山市商工会議所、関係事業者、一般参加者(予定) 内容：令和6年度開催の長野・北信サイクルツーリズム推進会議でのワークショップの提案をもとに、飯山市をモデル地域とし、関係者が協働して自転車活用の具体的な取組を実施し、拡げていく。1月31日販売のツアー造成に向け試乗会2回、検討会2回実施。</li> </ul> <p>③長野・北信サイクルツーリズム推進会議</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>日時：令和8年1月14日(水) 場所：長野合同庁舎館 501～503 会議室 講師：小口良平氏、阪田 明子氏、清水 智美氏 参集者：長野・北信管内市町村、観光協会、自転車推進団体、県観光部 内容：「“ガイド”と“地域を案内する人”が連携したサイクリングガイドツアー形成—実践と目指す姿の2つの事例から考える—」をテーマに鼎談、意見交換を実施。</li> </ul> <p>④広域サイクリングルート研究会への参画</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>内容：長野県栄村、新潟県十日町市及び津南町の観光関係団体が主体となって活動している研究会にオブザーバーとして参加し、県境地域でのサイクルツーリズムを推進する。</li> </ul>			
	事業期間	令和7年4月		～	令和8年3月
事業費等	(単位:円)				
	事業を構成する細事業名等	実施内容	計画(実績)額	備考	
	①CYCLE MODE TOKYO2025、CYCLE MODE RIDE OSAKA2026出展	・信越自然郷と共同出展。 ・隣接出展する新潟県と連携し広域での魅力発信を実施。	834,218	職員旅費・宿泊費110,196(東京2泊1名、1泊1名、日帰り2名)、43,920(大阪3泊宿泊のみ)、消耗品費75,298、印刷代19,404、東京出展料(R8)415,800、ブース装飾等169,600	
	②サイクルツーリズム推進に係る課題解決モデル事業	・飯山市をモデル地域とし、関係機関と協働して自転車活用の具体的な取組を実施し、拡げていく。	118,580	講師謝金52,000(@3,200×16.25H)、講師費用弁償28,080(2回)、自転車レンタル・マップ印刷38,500(@3,500×3台+2,500×10台+3,000)	
	③長野・北信サイクルツーリズム推進会議	・サイクルツーリズム推進に関する鼎談、意見交換。	2,640	職員旅費2,640	
	④広域サイクリングルート研究会への参画	・研究会にオブザーバーとして参加し、県境地域でのサイクルツーリズムを推進する。	6,486	職員旅費4,590、公用車ガソリン代1,896	
合計			961,924		

指標及び達成状況	成果指標	目標値	成果	達成状況
	モデル事業のモニターアンケート満足度「良い」以上の割合（5段階中4以上）	80%	80%	● 達成
	CYCLE MODE東京ブース来場者数（パンフレット配布数）	500名	684名	○ 一部達成
				○ 未達成
事業実績・成果	<p>・CYCLE MODE TOKYO 2025及びCYCLE MODE RIDE OOSAKA2026に信越自然郷と協働して出展し、首都圏と関西圏のサイクリストに当地域への誘客を図った。地図幕やチャリコーヒーなど、来訪者の目を引きやすい仕掛けを用意したところ、前年度を上回るブース来場者数を獲得（東京：684人、大阪：800人）、都市圏での当地域の認知度向上に繋がった。</p> <p>・サイクルツーリズム推進に係る課題解決モデル事業として飯山市と連携し、インバウンドを対象とした冬のファットバイク体験モニターツアーを開催。モニターツアーの様子は複数のメディアに取り上げられ、1月からは信越自然郷アクティビティセンターでツアー商品として販売されるなど、地域関係者と協働し新たなコンテンツを造成することができた。（2月末現在、6組利用）</p> <p>・長野地域と連携し、サイクルツーリズム推進にかかる課題解決に向けた意見交換会を実施した。講師として諏訪市などで自転車事業を展開している小口良平氏や須坂・小布施地域でサイクリングツアー事業を行っている阪田明子氏、清水智美氏を招き、活発な意見交換が行われた。持続可能なサイクリング事業を行うためには、SNSによる情報発信やリピーターの獲得が重要であることが参加者に共有された。</p>			
今後の方向性	<p>・CYCLE MODE TOKYO 2026への出展（4/25～26）・広域サイクリングルート研究会会議等にオブザーバーとして参加</p> <p>・長野地域振興局等と協働してサイクリングに関する会議を開催</p> <p>・ツーリズムEXPOジャパンに出展し、地域の他のコンテンツと共に複合的な魅力を首都圏にて発信し誘客を図る。（9/24～27）</p>			